

1) 参加団体名

大阪府立大学 小型宇宙機システム研究センター チーム A

2) 参加メンバー名

小野達也 柳田将志 荒木俊輔 田中康平

3) 目標としたこと

固定翼方式を採用することにより、風に流されにくい CanSat を作る。

4) 工夫したこと

- ・軽量化しつつ、パラシュートなしで落下しても、中の機器が壊れない程度の強度を確保した。
- ・できるだけ単純かつ確実な展開機構, 旋回機構を目指した。

5) 苦労したこと

- ・投下試験がスムーズに行える設備、環境がなかったため、投下試験があまりできなかった。

6) 結果

- ①回目 ・GPS のトラブルにより、飛行を断念。
- ②回目 ・翼展開には成功したが、きりもみ落下。
 - ・GPS のトラブルが解決せず、制御データの取得に失敗。

7) 今後の課題

- ・GPS トラブルの原因究明
- ・投下試験用道具の整備